

Title	最古の紀年はB・C・四二三六
Sub Title	
Author	間崎, 万里(Masaki, Masato)
Publisher	三田史学会
Publication year	1937
Jtitle	史学 Vol.16, No.3 (1937. 11) ,p.76(404)- 76(404)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	餘白録
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19371100-0076

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

最古の紀年はB・C・四二二六

『エジプト人の曆は紀時法史上に於ける最大の智力的事實である』(Martin Persson Nilsson, *Primitive Time-Reckoning*, 1922, p. 289) が、その曆法計算の基準點となつたものは狼星紀元の元年であつて、從來西曆紀元前四二四一年とせられてゐたものである。これは『ケンソリヌスがA・D・二三九年に遺せる記事に、エジプトの新年トート月の一日は六月二十五日に當つてゐるが、それより更に百年前なるA D 一三九年には七月二十一日に當り、その曉にエジプトに於て天狼星の太陽に先立ち東天に出づるを目撃したとある。随つてA D 一三九(或は一四三)年は眞の太陽曆の元旦とエジプト曆の元旦とが合致する年であつてB C 一三二一年にもB C 二七八一(或は二七七八)年にもB・C・四二四一(或は四二三八)年にも同一の合致ありたるはずである』(ケンブリッジ『古代史』第一卷第四章及び恒松安夫氏『古代埃及の年代に就て』史學一三の一参照)。しかるに、右ケンブリッジ古代史第一卷中の年表を比較したる處には B. C. 4241 (?) *Institution of the Calendar* (?) *Beginning of the First Sothic Cycle*. とあつて疑問符が加へられてあるが、ブレストド古代史新版に於ては、『今日に於てはこの偉大なる發明は紀元前四二三六年に於てなされた』(Breasted, *Ancient Times*, 1935, p. 59) とある。ケンブリッジ古代史の括弧内にある紀元前四二三八年が四二三六年と改まつたのは『從來この事件のために計算せられてゐた紀元前四二四一年なるデータは使用したる資料に少しの誤謬が含まれてゐた。この誤謬が訂正された後、この計算は紀元前四二二三年を正しい年とする』(Ibid. p. 59 note 及び Breasted, *The Beginnings of Time-Measurement and the Origins of our Calendar*, in *Time and its Mysteries*, Series I, 1936, p. 72, *Scientific Monthly*, Oct., 1935 再録) からである。それ故、今後我等は舊にニルソンの所謂『智力的事實』たるのみならずブレストドの所謂『智力的功業』(同所)でもあるこの紀年を誤りなく使用すべきである。(間崎万里)